

# 令和 7 年度平塚工科高等学校

## 第 3 回学校運営協議会

### 議事録

日付: 令和 8 年 3 月 17 日火曜日

時刻: 15 : 00~16 : 30

司会: 教頭

記録: 新野

#### 出席者

出席者一覧参照

#### 学校運営協議会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 校長あいさつ
4. ・第 2 階協議会後の教育活動報告と次年度に向けた課題(広報企画グループより)  
課題研究発表会・ゲームプログラマーの道、魅力と特色ある県立高校アンケートの結果  
① 課題研究発表会は 1 人 1 テーマ指導してきた。スロットゲーム作成など今までの学びを生かして各々研究に取り組んだ。また、年度末の実施アンケートでは本人・保護者が十分満足している回答も多い。ただし、受験者数に繋がらなかったため、この入学後の満足度もアピールしたい。  
② ゲームプログラマーへの道、という題目で今年から HP にアップを始めた。「ゲーム作りは平工で。」という締め言葉とともに連載をしてきた。多くの中学生が注目してくれていたようだ。今後も平工の授業特集をアピールしたい。

## 5. 校内各総括教諭より校内評価報告

- ① 今年度からSSWの提案により、「放課後カフェ」という取り組みを始めた。SSWは平塚市でフードロスの観点から子供食堂もやっている方である。「生徒の居場所づくり」と「困り感の把握」に努めたい。
- ② 部活動の加入率は全校の1/3程度であるが、教科外グループによる把握率が100%ではないかもしれない。近年、イラスト模型同好会など目覚ましい活動をしている団体もある。ぜひHP等でその活動を積極的にあげ、新入生の興味を掴みたい。また、行事では各部活動に校歌を歌ってもらう活動を今後も入れていきたい。
- ③ 就職率100%を達成した。近年では2年生など早い段階で進路室に行く子もいる。今後も進むべき道の提示を早くしていきたい。
- ④ インターンシップについては、本校での学んだ技術を生かしたところをお願いしている。例えば、溶接の技を生かしたインターンシップを新たに探したところ、それに特化したインターンシップをやっていただけることになった。企業・大学との連携も引き続き行っていきたい。
- ⑤ 保護者の方対象に行った、本校の「ものづくり体験会」では、多くの保護者の方に積極的に来ていただけた。今年度は「機械系」の取り組みで、文鎮を約2時間でつくる体験を行った。来年度は電気系からである。今後も積極的に行きたい。また、防災教育については、今年は東日本大震災から15年という節目の年。講演会など行いたい。
- ⑥ 毎月、若手を中心として職員会議では司会を行ってもらっている。不祥事防止に努めたい。また、オフィス改善によりコミュニケーションを取りやすくなれたらと思っている。

## 6. 各学校関係者評価・意見交換

- ① 要支援の生徒の把握率について、どのように把握しているか？大学では卒業時にやっと分かることもあるのでどのように把握しているか？  
→入学前に、中学校訪問を行い詳しく事前に把握している。ただし、工業高校高校はグレーゾーンは多いのが課題である。
- ② 卒業時のアンケートを見ると、満足度が非常に高い。しかし、入学者数に繋がっていないためいかに解消できるかが課題である。この「卒業時満足度の高さ」を生かしてほしい。HPは数で勝負してほしい。どんどん更新してほしい。

- ③ 今後も企業の強みを生かして、ぜひインターンシップを積極的に続けてほしい。
- ④ 近年の部活動のめざましい活動は何か？  
→イラスト模型同好会が、顧問も前向きにやっている。ガンダム系のプラモデルの制作など、賞を受賞した。
- ⑤ 終業式などの式典等で校歌を歌う取り組みは、前に立つリーダーシップ育成のためにも効果的。
- ⑥ 教育課程について。各系に分かれることで、他系についての専門知識が不足するのではと思うが、系をまたいで交流などはないのか？  
→高校3年生で「課題研究」という授業があり、その発表における互いの系の聴講を通して互いの系を知る取り組みをしている。
- ⑦ 「工業」というと、中学生の保護者は「就職口が狭くなる」と思ってしまうことが多いようだ。  
→ぜひ中学校からご要請があれば、本校広報企画グループで、より知ってもらう機会を作りたい。
- ⑧ 夏休みにいつもやってもらっている「子ども科学館」が目玉になっている。またぜひ来てほしい。
- ⑨ 放課後カフェは面白い取り組みである。これにより、様々な生徒との関わりがもてることは意義が大きい。また、部活動の充実、高校生活の活性化にもつながりとても重要である。加入率の目標は達成できていないようだが、引き続き加入率アップに力を注いでほしい。
- ⑩ 体験イベントを知った割合で、HPが多いことが把握できたことは意味がある。また、掲載内容の充実に力を注ぐことは重要である。生徒・保護者ともスマホで気軽にHPをみることができ、内容の充実は求められていると思う。

## 閉会